



エコモットはIoTを通じて
より安心な社会の実現に貢献します

撮影者：磯 真査彦氏

2020年8月期 第5四半期決算説明資料

ECOMOTT

証券コード：3987

エコモット株式会社

2020年8月11日



社名	エコモット株式会社
代表者	代表取締役 入澤 拓也
設立	2007年2月（決算期：8月）
資本金	614百万円（2020年6月末現在）
本社所在地	北海道札幌市中央区北1条東2丁目5-2 札幌泉第一ビル1F
従業員	131名（2020年8月1日現在、臨時従業員含む）
事業概要	IoTインテグレーション事業

企業理念

未来の常識を創る

コーポレートスローガン

あなたの「見える」をみんなの安心に。



2017年6月21日
札幌証券取引所アンビシャス 上場



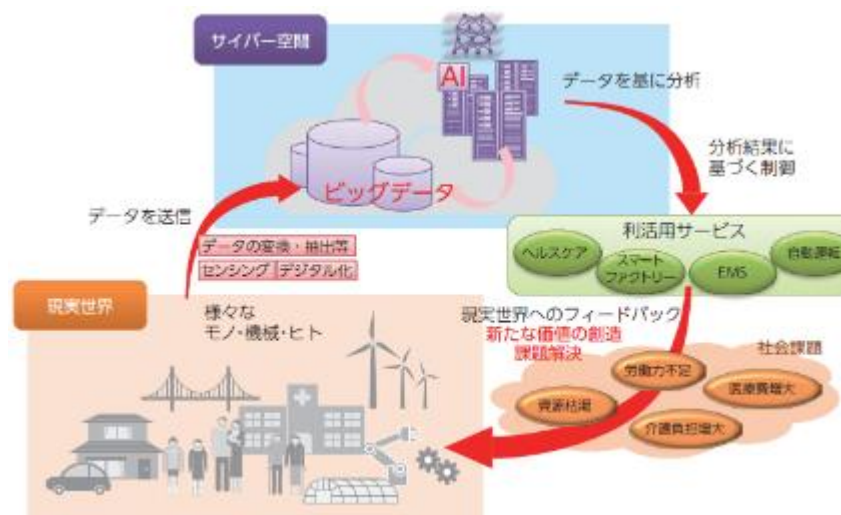
2018年6月22日
東京証券取引所マザーズ上場
証券コード：3987

当社は創業以来、IoTインテグレーション事業を専業としています

IoTとは

Internet of Thingsの略で「モノのインターネット化」と訳され「あらゆるモノ」をインターネットに接続、データ収集により「**現状の見える化**」を実現すること

IoTで収集したデータをクラウド上に蓄積（ビッグデータ化）し統計解析、人工知能（AI）等の分析手法を活用してデータを知識に変え、サイバー空間から**現実世界にフィードバック**することで効率化、高速化、安心・安全を提供し課題解決







(出典) 総務省「平成28年版 情報通信白書」

当社が提供してきたIoT

「データを収集・分析し、現実世界にフィードバックするサービス」を提供し続け、課題解決を実現

創業以来、一貫してIoTインテグレーション専門プロバイダーとしてソリューションを提供

提供スタイル・ソリューション分類		プラットフォーム・パッケージサービス		
IoT インテグレーション事業	IoTプラットフォームをベースとした SIによるソリューション 顧客ニーズに合わせて的確にIoT導入を支援		IoTデータコレクト プラットフォーム FASTIO	
	パッケージサービス を中心とした ソリューション	モニタリング ソリューション 遠隔でのカメラ監視によるソリューションを提供		融雪システム遠隔監視 ソリューション ゆりもっと
		コンストラクション ソリューション ・工事現場の「安全管理」「生産性向上」 「作業精度向上」等の 総合情報化ソリューションを提供 ・増水、豪雨、突風、倒壊、土石流、土砂崩 れなどの自然災害の予兆・監視等の ソリューションを提供		建設情報化施工支援 ソリューション 現場ロイド
		GPSソリューション GPS技術を活用したソリューションを提供		交通事故削減 ソリューション Pdrive

1. 第5四半期決算概要

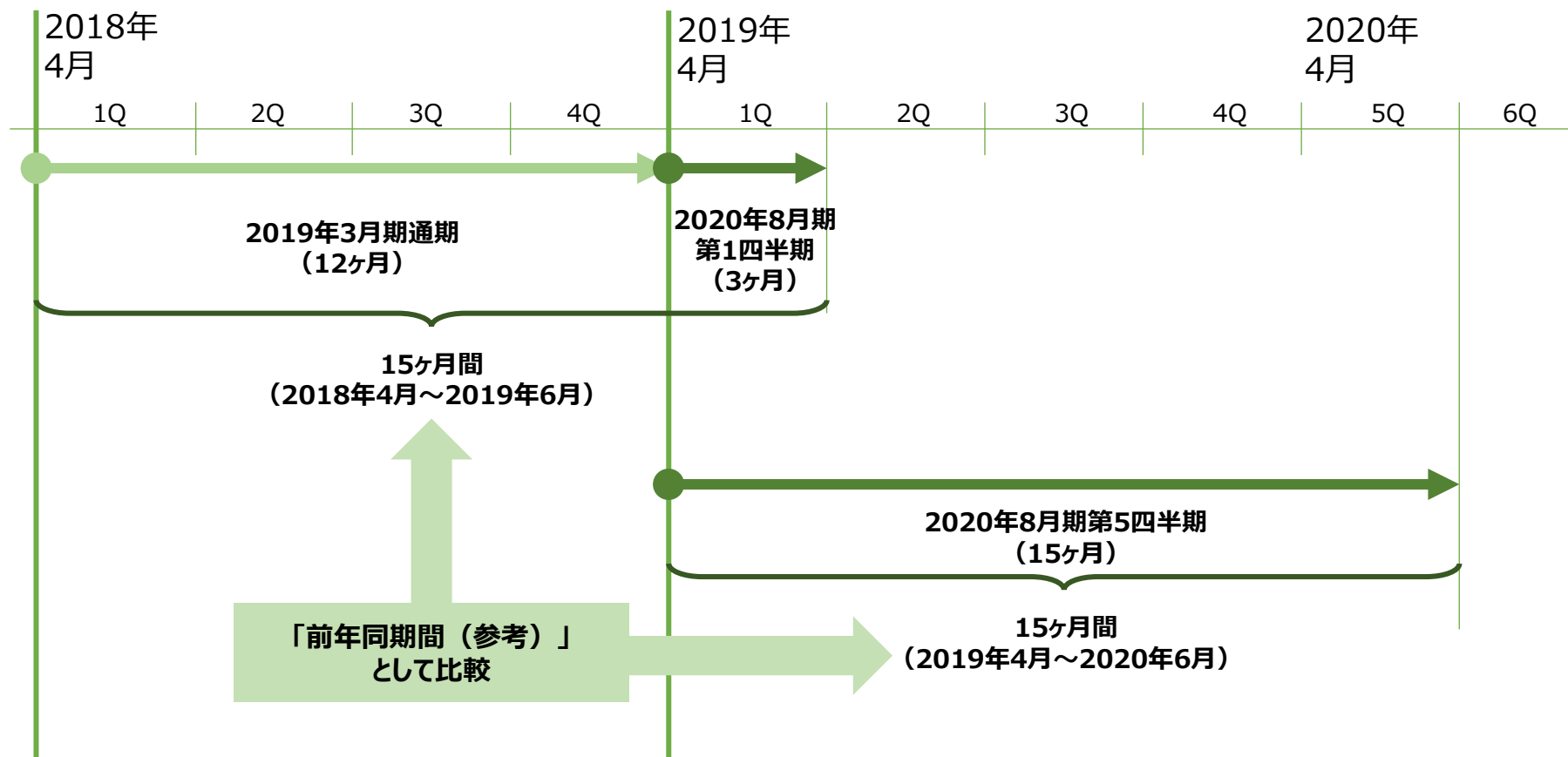
2. 事業運営の進捗状況、トピックス

3. 通期業績予想

4. Appendix

17ヶ月変則決算に伴う、対前年比較の考え方について

今期より、3月から8月に決算期を変更したため、本資料上における2020年8月期第5四半期実績の対前年比較は、2018年4月～2019年6月の15ヶ月間を「前年同期間（参考）」として比較分析を行う
なお、本考え方での対前年比較は、あくまでも参考であるため、決算短信、有価証券報告書においては、対前年比較の数値は未記載となっている



2020年8月期 第5四半期決算トピックス

新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに好調に推移すると共に
ストークの業績が今期第3四半期から連結対象となった影響により

売上高拡大

(対前年同期間+566百万円、+29%)

四半期単期の売上高拡大、営業利益率改善により

営業利益黒字化

(対前年同期間+134百万円)

※連結決算への移行について（詳細は、次ページ参照）

- ・ストークの完全子会社化に伴い、今期第2四半期より連結決算へ移行
- ・本第3四半期連より、ストークの経営状況も連結決算対象となることから、本資料において前期個別財務諸表数値と当期連結財務諸表数値を用いて比較分析を説明

ストック子会社化による連結決算移行について

今期第2四半期に株式会社ストック（以下「ストック」）を完全子会社化したことに伴い、連結決算へ移行
 なお、第3四半期連より、ストックの経営成績も連結決算対象となることから、本資料における対前期の比較分析は、
 前期個別財務諸表数値と当期連結財務諸表数値を用いて実施

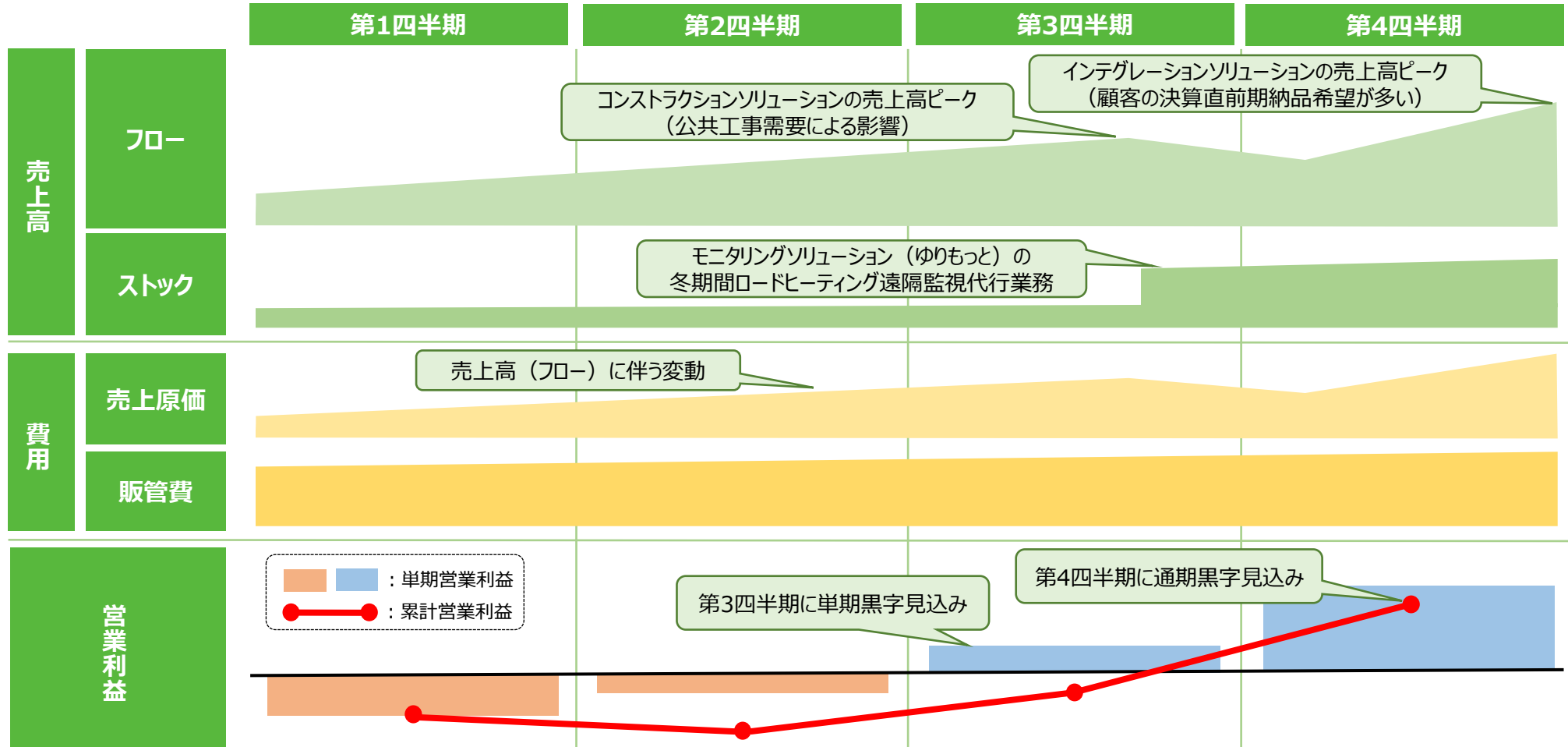
8月30日
全株式を取得
▽
9月30日
みなし取得日
▽

	第2四半期	第3四半期	第4四半期
貸借対照表	(2Q会計期間末日の) 子会社の財政状態を反映	子会社の財政状態、経営成績及び キャッシュ・フローの状況を反映	
損益計算書 包括利益計算書 キャッシュ・フロー計算書	子会社の経営成績及び キャッシュ・フローの状況は 原則、反映されない		

(参考) 売上高・営業利益の季節的変動について

提供ソリューションの性質上、売上高が下半期に集中するため、営業利益は第1四半期、第2四半期はマイナスとなるが、第3四半期から単期黒字化、第4四半期に累計黒字化を見込む

■ 四半期ごとの売上高・営業利益のイメージ



業績ハイライト

売上高は2,487百万円（対前年+566百万円）と好調に推移し、大口・高利益率案件増により売上総利益率も40.4%（対前年+3.2pt）と大きく改善し、戦略的人員体制強化による販管費増となるものの、前年同期間の営業損失69百万円から+134百万円改善し、当期営業利益は65百万円と黒字化を達成

※売上高のソリューション別内訳は、12ページ「ソリューション別売上高の増減要因」参照

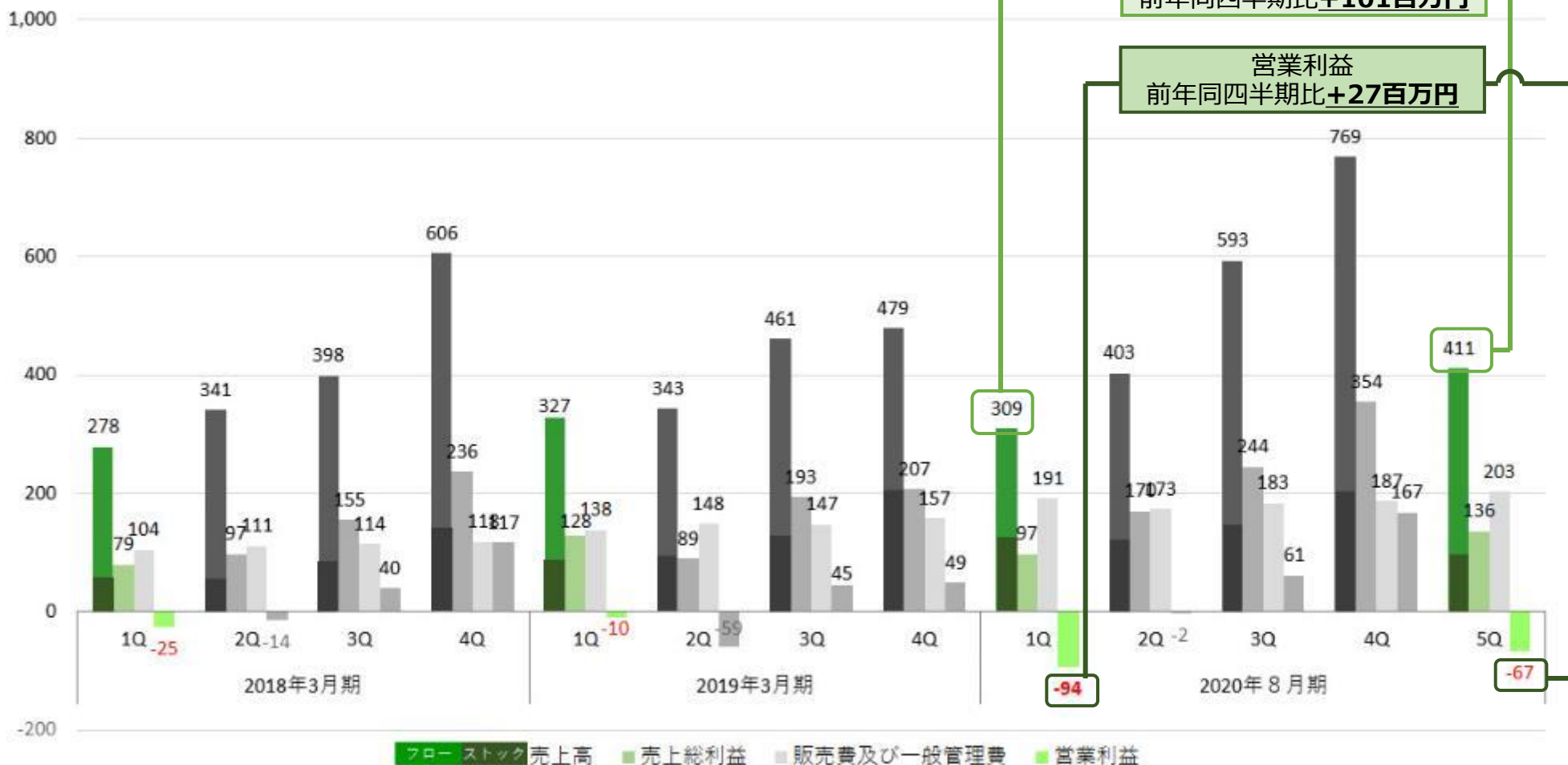
（単位：百万円）

	前年同期間（参考） 2018/4～2019/6	2020年 8月期 5Q累計	前年同期比（%）
売上高	1,920	2,487	+566（+29.5%）
売上総利益	714	1,004	+289（+40.5%）
売上総利益率	37.2%	40.4%	+3.2pt
営業利益	△69	65	+134（- %）
営業利益率	△3.6%	2.6%	+6.2pt
純利益	△56	42	+99（- %）
純利益率	△2.9%	1.7%	+4.7pt

※2020年8月期2Qより連結決算に移行しており、前年同期間数値は単体の数値

四半期業績推移

(単位：百万円)



※2020年8月期3Qより子会社の損益計算書を連結しており、2020年8月期2Q以前は単体の数値

ソリューション別売上高の増減要因

GPSソリューションが対前年同期比減となったものの、他ソリューションの売上が好調に推移し、2,487百万円で着地
(前年同期間比+566百万円)

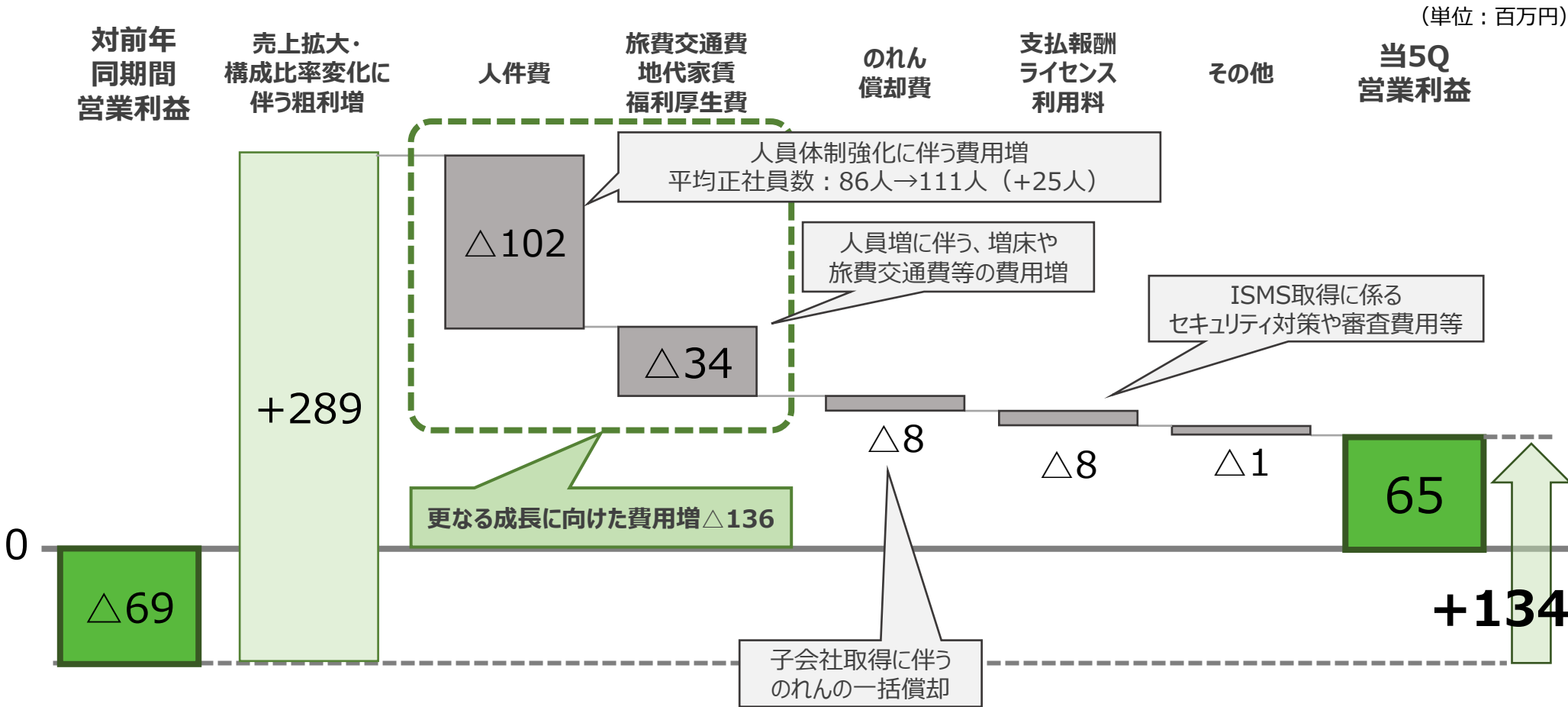
(単位：百万円)

	前年同期間 (参考) 2018/4~ 2019/6	2020年 8月期 5Q	前年同期比 (%)	主な増減要因 (対前年同期比)
インテグレーション ソリューション	274	344	+70 (+25.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ・大口開発案件納品による、フロー売上増 ・前期からの累計契約数拡大によるストック売上増
コンストラクション ソリューション	859	1,238	+379 (+44.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア開発を含む大口・カスタマイズ案件の多数納品による、フロー売上増 ・営業人員強化、営業拠点拡充が顧客基盤拡大に貢献
モニタリング ソリューション	199	380	+181 (+91.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・2年後の3G停波に伴う、既存顧客の3G端末からLTE端末への多数のリプレース案件によるフロー売上増 ・前期からの累計契約数拡大に伴うストック売上増 ・3Qより連結子会社（ストック）の業績を反映
GPS ソリューション	588	523	△64 (△10.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・新端末開発期における営業活動減に伴うフロー売上減少 ・フロー売上減少となりながらも、契約数を保ちストック売上を維持
計	1,920	2,487	+566 (+29.5%)	

※2020年8月期2Qより連結決算に移行しており、前年同期間数値は単体の数値
連結子会社のストックの業績は、事業の親和性によりモニタリングソリューションに計上（第4四半期より業績を反映）

営業利益増減分析

売上高増、大口開発案件・カスタマイズ案件等の売上総利益率改善による売上総利益289百万円の増加が、「更なる成長」に向けた戦略的人員体制強化による人件費、地代家賃等の費用増を含めた販管費増を大きく上回り、営業利益は65百万円（前年同期間比+134百万円増）と黒字化を達成



※ 2020年8月期3Qより子会社の損益計算書を連結しており、2019年3月期4Q数値は単体の数値

貸借対照表

2019年3月期4Qは、期中の新株式発行により現預金として保有
 2020年8月期において、現預金を主に製品製造、ソフトウェアの取得、投資有価証券の取得（事業領域拡大に向けたBULB社との資本提携）等に充当

（単位：百万円）

	2019年3月期 4Q (2019年3月31日)	2020年8月期 5Q (2020年3月31日)	増減
流動資産	1,783	1,989	+206
(現金及び預金)	766	623	△143
固定資産	341	387	+46
総資産	2,124	2,377	+252
有利子負債	437	614	+176
自己資本	1,460	1,489	+28
自己資本比率 (%)	68.8%	62.6%	△6.1pt

※2020年8月期2Qより連結決算に移行しており、2019年3月期4Q数値は単体の数値

1. 第5四半期決算概要

2. 事業運営の進捗状況、トピックス

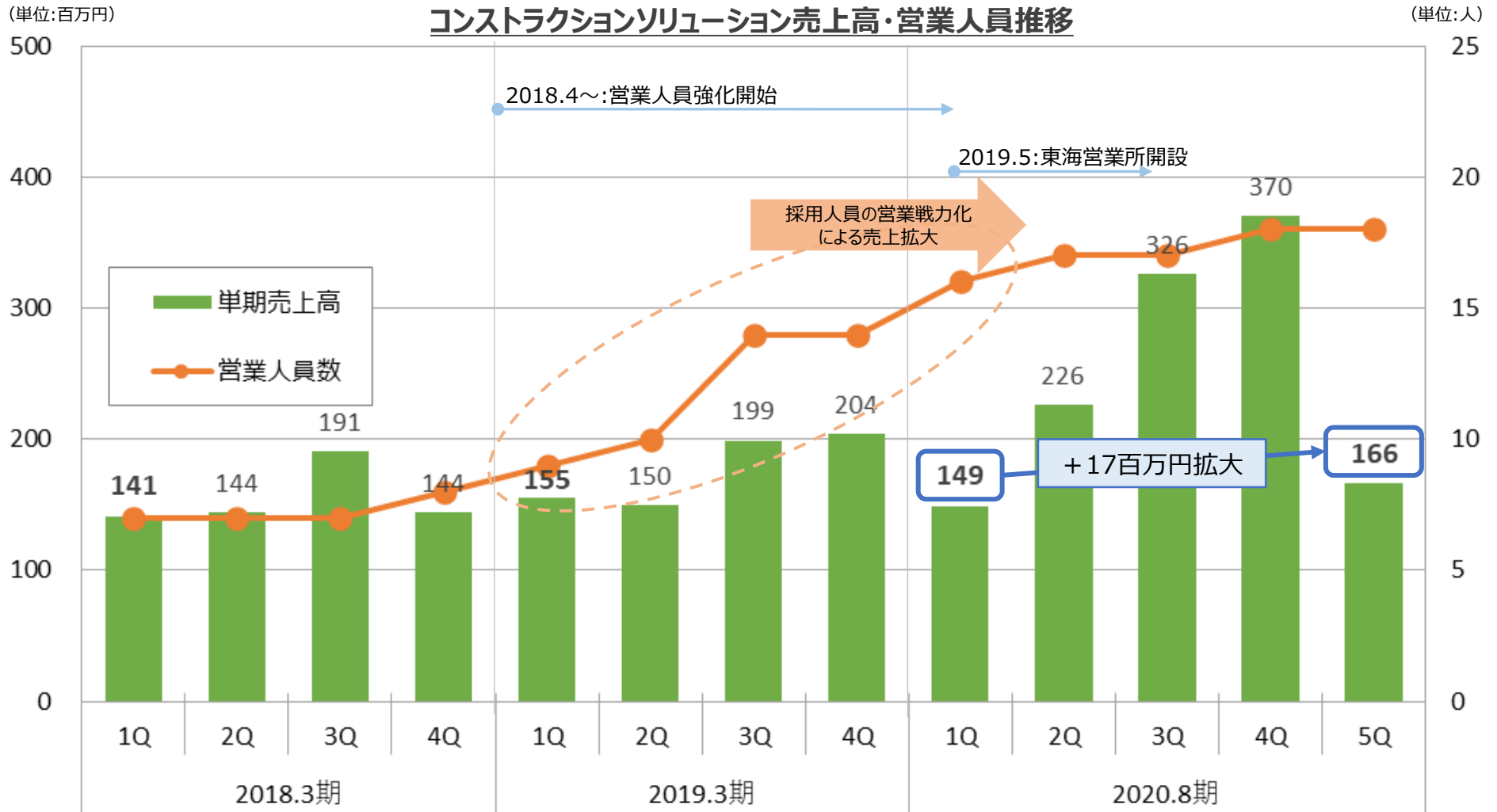
3. 通期業績予想

4. Appendix

「現場ロイド」への営業リソース集中

前期から取り組んできた人員強化、拠点新設による営業体制強化策の定着化により、新型コロナウイルス感染症により活動量が低下しながらも、対前年同期間比+17百万円（+11%）の売上高拡大となった

新型コロナウイルス感染症下においても5Q単期売上拡大



エコモットが培ってきたAI、IoT技術を活用した新型コロナウイルス感染症対策ソリューションを提供し、様々な業種業態のお客さまにご利用いただき、今後も、皆様の不安の解消にお役に立てるよう、サービスラインナップ充実に向けた開発を推進

コロナ対策ソリューションラインナップ強化

■お客さまの利用形態に合わせた製品ラインナップ強化

◇サーモグラフィーカメラ関連

・サーモロイドPro

⇒高機能なAI顔認識により、最大16人の温度を同時測定可能



- ・2020年4月のサービス提供開始後、様々な業種業態のお客さまからの問合せ多数
- ・本州の電子部品メーカーへ十数台納品 (5Q売上計上)
- 他、北海道内の旅館等へ納品

・「サーモロイドPro」の廉価版製品の提供

⇒手頃な価格・機能を求めるお客さま向けへ開発し、提供開始
 コロナ関連補助金活用により、旅館・ホテル、飲食店等から多数受注
 (売上は来期計上予定)

◇「アイテル」のラインナップ強化

・「アイテル」のオンラインショップ画面



・「アイテル FRESH AIR」システムイメージ



工事現場での「3密対策」ソリューション

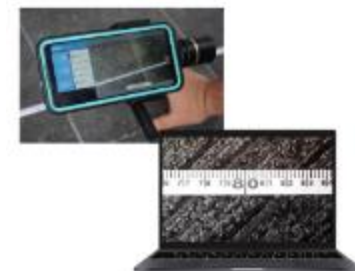
■お客さまの利活用シーンに応じてサービスを提供

・画面をぶらさずに、繊細な画像による遠隔立会検査で利用したい

発注者・受注者間の立会検査をリモート環境を通じて実施可能な現場検査特化型遠隔臨場システム「Gレポート」を北海道の建設会社と共同開発



遠隔での立会検査をリモート環境で実施可能



高精細な映像を実現

・工事現場の担当者と同じ視野画像を共有し、遠隔サポートしたい

建設現場向けサービスとして提供開始したウェアブルカメラ「MET-EYE」が新型コロナウイルス感染症対策としての利用シーンが拡大

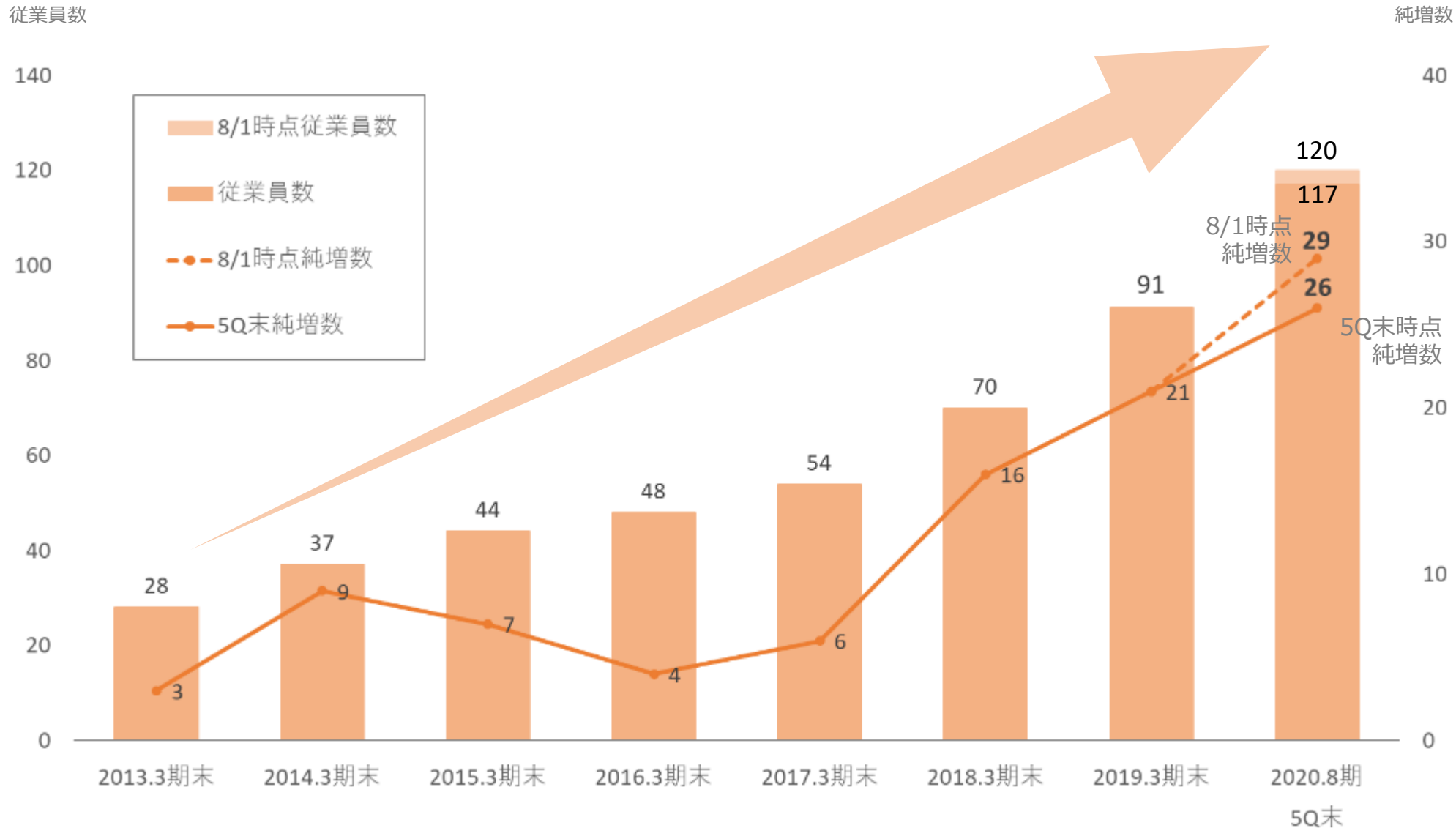


・2020年1月から提供開始、
 2020年7月に最高出荷数を達成

・建設会社、販売店からの問い合わせ多数

従業員数経年推移

単位：人（臨時雇用者数含まず）



1. 第5四半期決算概要

2. 事業運営の進捗状況、トピックス

3. 通期業績予想

4. Appendix

2020年8月期業績予想



事業計画達成に向けて堅調に進捗しており、新型コロナウイルス感染症に関しても今期業績に対する直接的な影響はないと見込み、通期業績予想は据え置く

※今期通期営業損失と見込む理由は次ページ参照

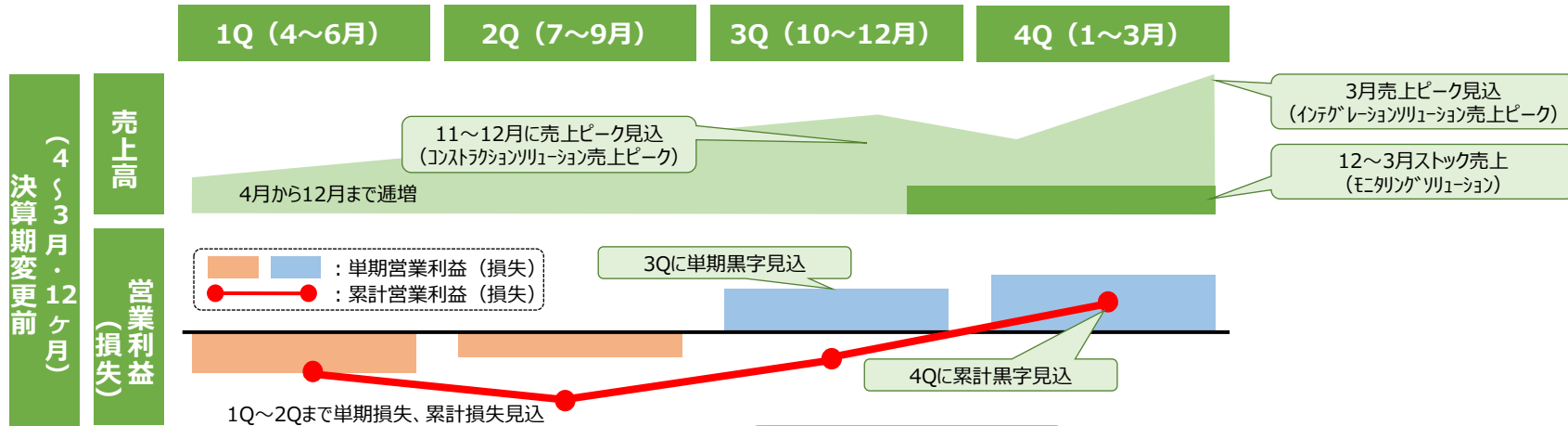
(単位：百万円)

	2020年8月期通期業績予想
売上高	2,750
営業利益	△80
営業利益率	-
経常利益	△77
経常利益率	-
純利益	△68
純利益率	-

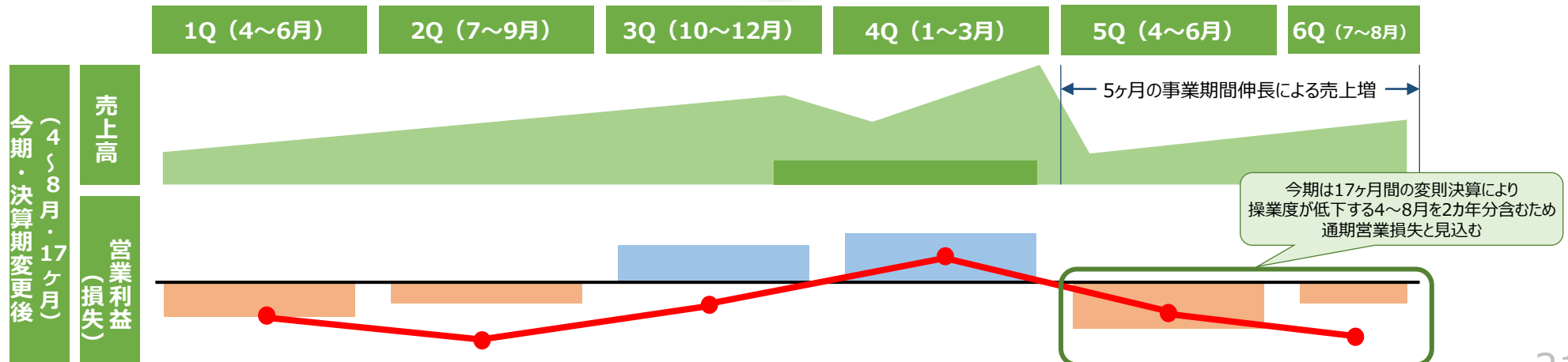
今期業績予想を通期営業損失と見込む理由

以下のモデルが示す通り、今期は操業度が低下する4～8月を2カ年分含むため通期営業損失と見込む
 なお、過去実績に基づくモデルケースを踏まえると、来期以降は12ヶ月決算であることから、特殊要因が無い場合は通期営業利益と見込む

※来期以降の業績イメージは、次ページ参照



決算期変更により売上高拡大するものの通期営業損失となる



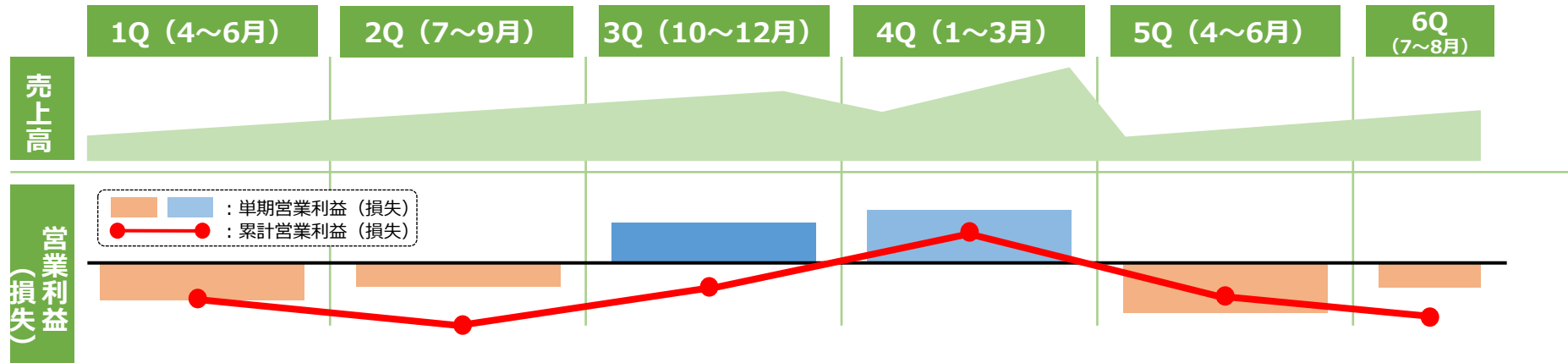
来期2021年8月期（12ヶ月間）以降の業績イメージ

来期以降は12ヶ月間の事業年度であることから、特殊要因が無い場合は通期営業利益と見込む

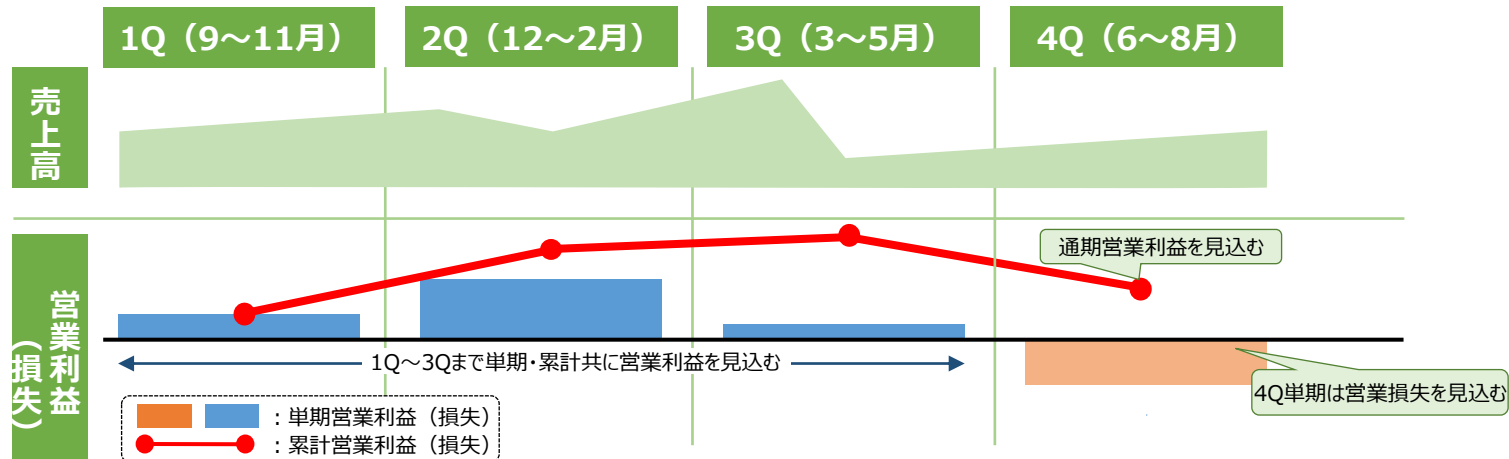
※売上高・営業利益（損失）は過去実績に基づくモデルケースのイメージであり、実際の業績を示すものではありません

■ 四半期毎の売上高・営業利益のイメージ

・今期2020年8月期（17ヶ月）の業績予想イメージ



・来期2021年8月期（12ヶ月間）以降の通期業績イメージ



業績予想の精度向上のため
決算期（事業年度末日）を
3月から8月へ変更

「新・中期経営ビジョン」策定スケジュール

2020年8月期第4四半期決算発表において公表した「新・中期経営ビジョン」基本方針を踏まえた具体的な事業戦略については、2020年8月期通期決算発表（2020年10月予定）にて公表

2020年

5月

8月

9月

10月

■ 2020年8月期4Q決算発表
・「新・中期経営ビジョン」の基本方針を公表

■ 2020年8月期5Q決算発表

2021年8月期スタート

■ 2020年8月期通期決算発表
・「新・中期経営ビジョン」及び、
「経営基盤強化の棚卸し」を公表

■ 決算発表毎
・「新・中期経営ビジョン」の進捗状況を報告

1. 第5四半期決算概要

2. 事業運営の進捗状況、トピックス

3. 通期業績予想

4. Appendix

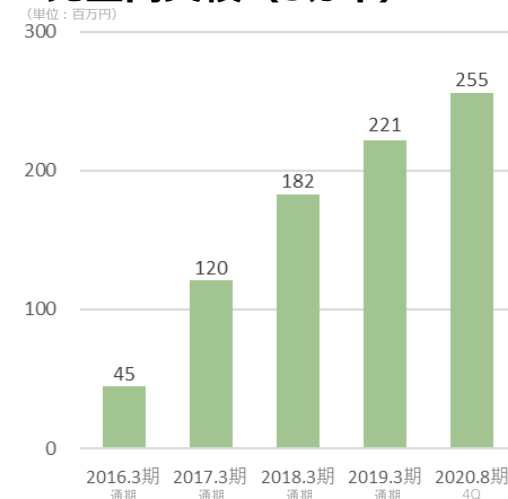
インテグレーションによるソリューション



IoTデータコレクトプラットフォーム「FASTIO」により、センシングからデータの蓄積・分析、フィードバックまでワンストップで提供することで、顧客ニーズに合ったIoT導入を実現し、課題解決を支援



■売上高実績 (5カ年)



■導入事例

・会議室の効率的運用

会議室のドア開閉センサー、室内の人感センサーから取得したデータをクラウド上で連携した会議室予約システム上のステータスを突合することで、会議室の効率的運用を実現



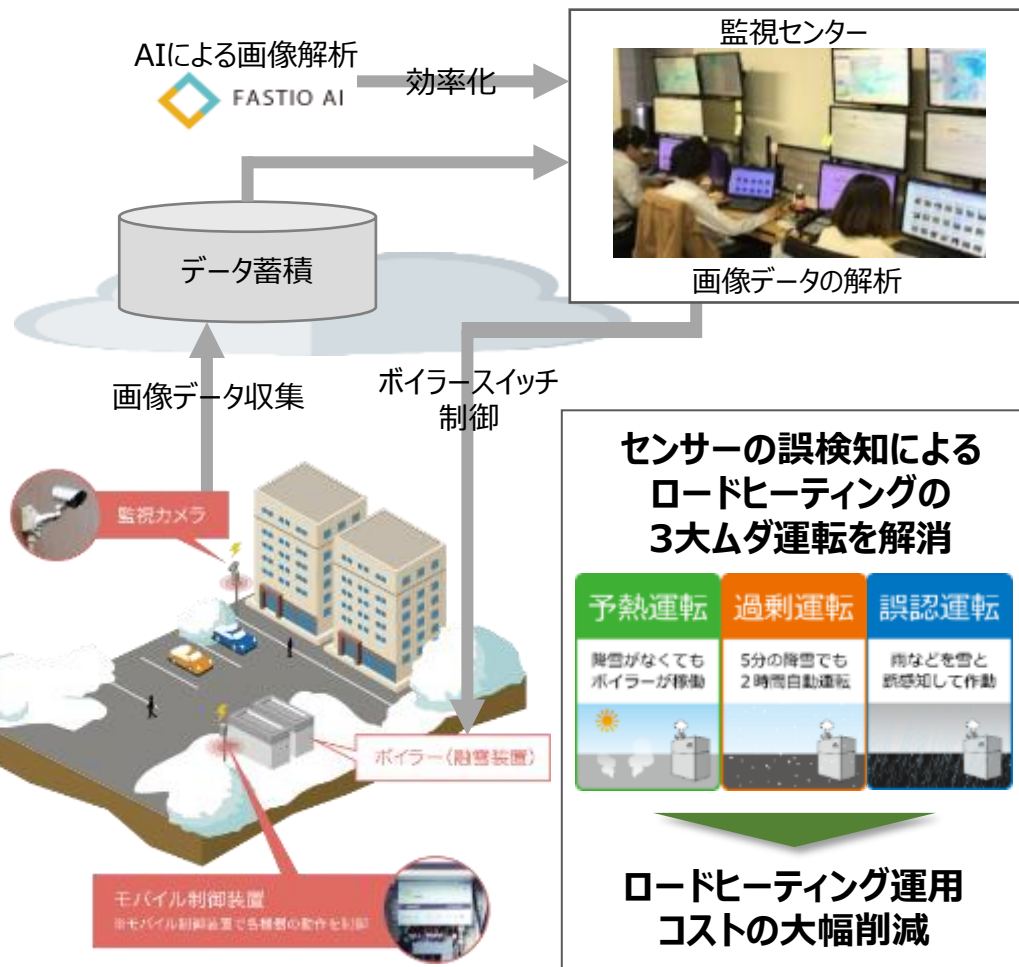
IoTに必要な全ての要素を顧客ニーズに合わせてワンストップで提供

「ゆりもっ」と紹介（雪のIoT）

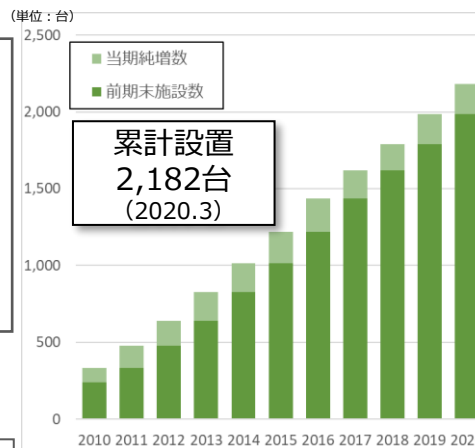


創業事業として融雪システム遠隔制御代行サービス「ゆりもっ」を提供、北海道・北東北を中心に2,000台以上設置し、冬期間の大幅な省エネルギーを実現

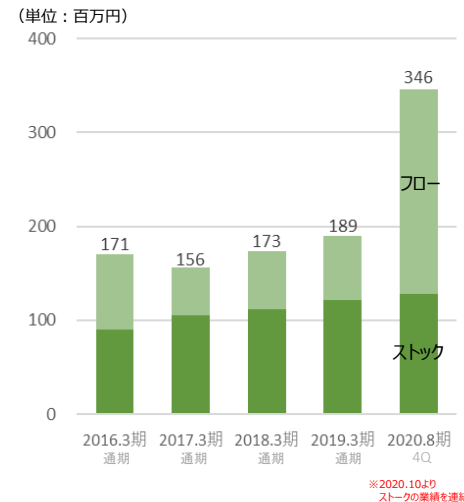
■ サービスイメージ



■ 設置実績



■ 売上高実績（5カ年）



■ 導入事例

札幌市西区賃貸マンションへの導入

- 融雪面積：1,116㎡
- 設備状況：融雪ボイラー8台

1シーズン平均効果額
1,414,800円

導入後8シーズンで
平均56%の削減効果

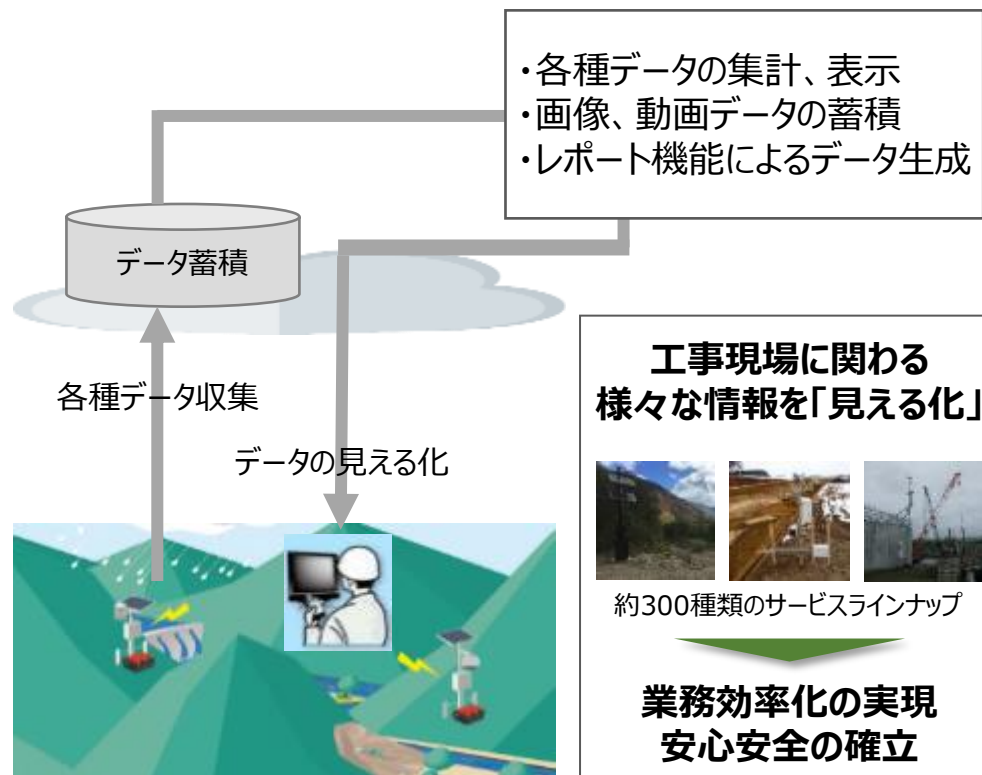


「現場ロイド」紹介（土木工事のIoT）



GR 建設情報化施工支援ソリューション「現場ロイド」を2010年以来、9,000件以上の工事現場に設置し、工事現場の安全性向上、業務効率化、品質向上に大きく貢献

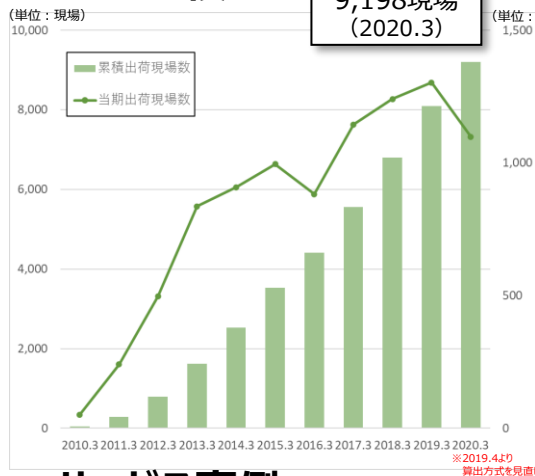
■ サービスイメージ



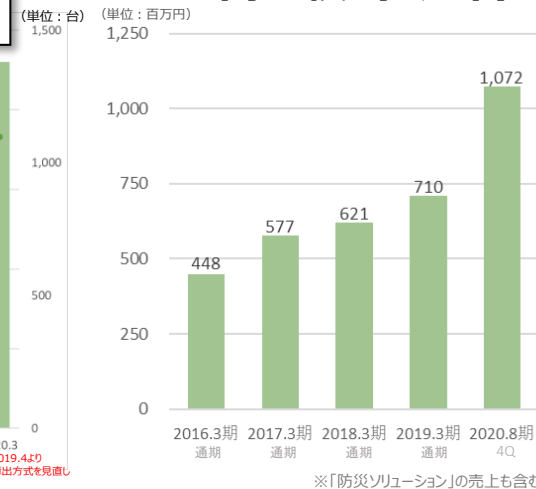
（参考）NETIS（新技術情報提供システム）について

NETISとは、民間の有用な新技術を積極活用するための国土交通省のデータベースであり、総合評価落札方式にて、NETIS登録技術を提案した場合、加点対象となる現場ロイドでは6技術がNETIS登録されており、多くの公共事業にて導入されている

■ 設置実績



■ 売上高実績（5カ年）



■ サービス事例

- ・クラウドロガー（遠隔クラウド計測システム）
- ・ミルモット（遠隔監視カメラシステム）

風速、雨量、水位など現場の様子を自動計測データはクラウド保存されどこからでも確認可能設定値に応じ警報装置と連動し、安全対策を強化



スマートフォン等で遠隔地から現場状況を動画監視可能
赤外線照射機能により夜間撮影対応し、ソーラーバッテリーでの運用可能



- ・おんどロイド（コンクリート養生温度管理システム）

厳寒期のコンクリート養生温度管理等に採用
現場事務所は1キロ以上離れているが、リアルタイムにモニタリングすることができ、品質向上を実現



- ・Tbox（ワイヤレス警報検知システム）

赤外線センサー、衝撃検知センサーなど、現地の警報システムをモバイルネットワークで遠隔地でも検知できるよう、防犯・安全対策を強化

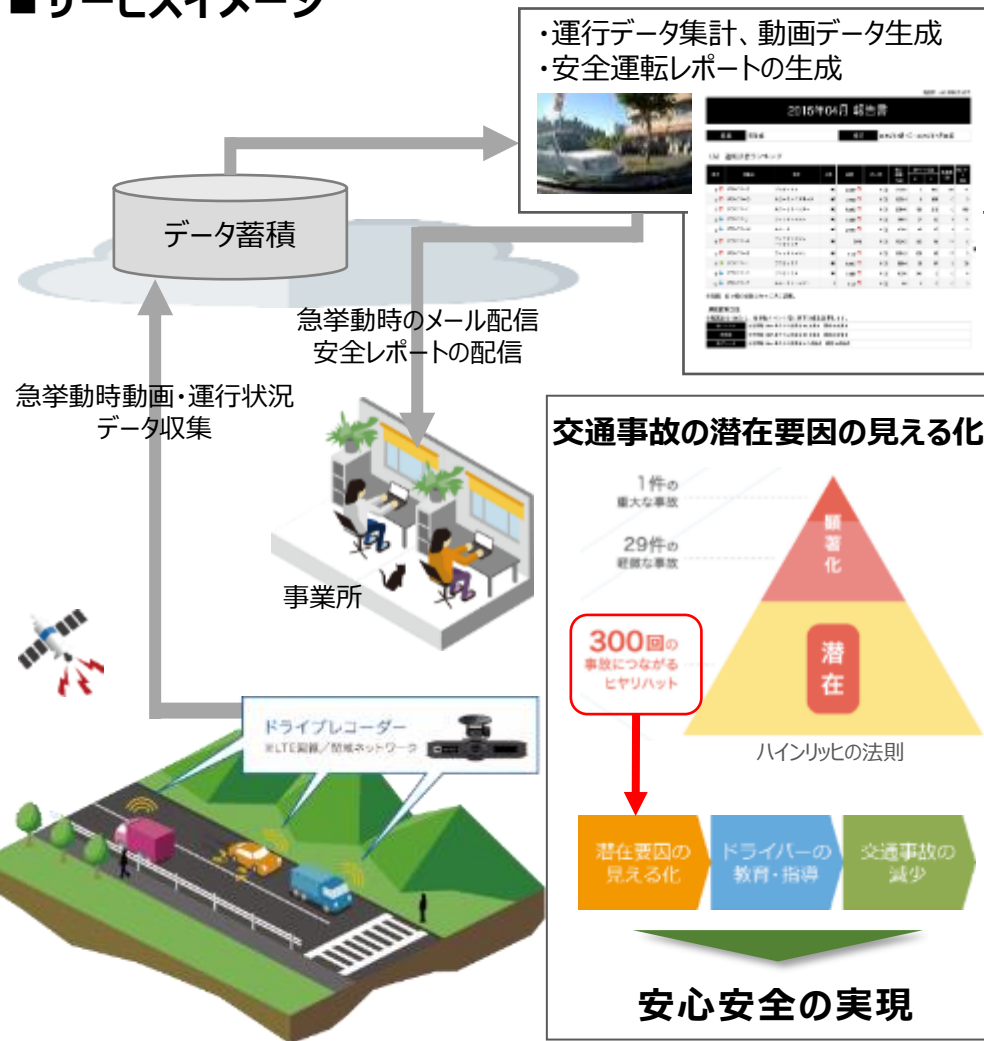


「Pdrive」紹介（車のIoT）

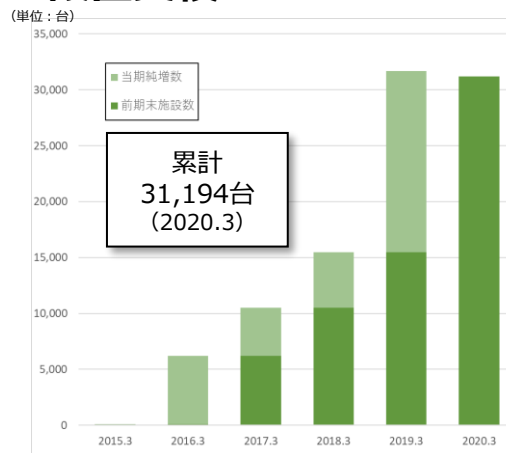


Pd Pdrive モバイル通信を搭載した高性能ドライブレコーダー「Pdrive」をわずか4年で15,000台以上提供
導入により安全意識向上が事故の減少につながり、安心安全の実現へ貢献

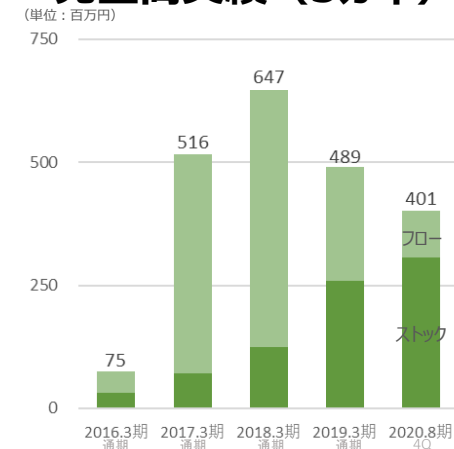
■ サービスイメージ



■ 設置実績



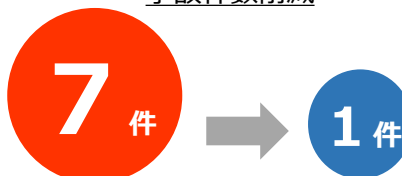
■ 売上高実績（5カ年）



■ 導入事例

札幌市 卸売業へ導入
・導入台数：46台

事故件数削減



保険料事故対応諸経費の削減

削減効果額
1,710,000円/年

月次ランキングによる評価

ドライバー	評価	走行距離	平均速度
1	ドライブレコーダー	200.00	204.0 km/h
2	ドライブレコーダー	198.00	222.2 km/h
3	ドライブレコーダー	196.00	222.8 km/h
4	ドライブレコーダー	192.00	211.8 km/h
5	ドライブレコーダー	188.00	149.9 km/h
6	ドライブレコーダー	185.00	183.9 km/h
7	ドライブレコーダー	182.00	131.8 km/h
8	ドライブレコーダー	180.00	209.8 km/h
9	ドライブレコーダー	178.00	62.8 km/h
10	ドライブレコーダー	175.00	182.2 km/h
11	ドライブレコーダー	172.00	415.5 km/h

ドライバーごとの特性を把握し、個別指導

ドライバー	走行距離	平均速度	最大速度 (km/h)	急加速回数
ドライブレコーダーA	4.00	0.00	23.00	0.00
ドライブレコーダーB	2.00	0.00	0.00	0.00
ドライブレコーダーC	9.00	0.00	113.00	34.00
ドライブレコーダーD	0.00	0.00	0.00	0.00
ドライブレコーダーE	0.00	0.00	0.00	0.00
ドライブレコーダーF	0.00	0.00	0.00	0.00
ドライブレコーダーG	2.00	0.00	34.00	3.00
ドライブレコーダーH	0.00	0.00	0.00	0.00
ドライブレコーダーI	12.00	0.00	9.00	140.00
ドライブレコーダーJ	9.00	0.00	4.00	1.00
ドライブレコーダーK	34.00	3.00	125.00	179.00
ドライブレコーダーL	4.00	0.00	0.00	149.00

本資料の取り扱いについて

- **本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。**
- **本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。**
- **本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。**
- **本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。**

お問い合わせ先



エコモット株式会社
経営企画部

TEL : 011-558-6600

Mail : ir@ecomott.co.jp

URL : <https://www.ecomott.co.jp/>